

ニューモシスチス肺炎予防における ST 合剤長期投与が 大腸菌 (E. coli) 感受性に与える影響と尿路感染症治療の再考

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「ニューモシスチス肺炎予防における ST 合剤長期投与が E. coli 感受性に与える影響と尿路感染症治療の再考」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ニューモシスチス肺炎予防における ST 合剤長期投与が E. coli 感受性に与える影響と尿路感染症治療の再考

[研究機関] 大分岡病院 薬剤部

[研究責任者] 丹生 淳也 (薬剤師)

[研究の目的] ニューモシスチス肺炎予防における ST 合剤長期投与が E. coli 感受性に与える影響を調査することを目的として行います。

[研究の方法] 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

1、対象となる患者さん

2016 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日までにニューモシスチス肺炎予防目的でステロイドを長期服用している患者さんで、尿路感染症と診断された患者さん

2、予定対象症例数 60 例

3、調査項目

年齢、性別、BMI、過去 1 年以内の入院歴、過去 1 年以内の抗菌薬使用歴、腎機能、ステロイド服用状況 (投与量、投与日数)、ST 合剤の投与状況 (投与日数、投与量)、既往 (移植、悪性腫瘍、HIV、糖尿病、腎不全、尿管結石、前立腺肥大、神経因性膀胱)、尿道カテーテル留置、感染症 (膀胱炎、腎盂腎炎)、感染場所 (院内/院外)、重症度、尿培養の検出菌、薬剤感受性

4、調査実施期間 2026 年 1 月 19 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

[試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法]

他の機関への試料・情報の提供はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[患者さんの費用負担について]

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

[利益相反について]

この研究は特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反 (資金提供者の意向が研究に影響すること)」は発生しません。



[研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。

調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

[問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 丹生 淳也

電話 097-522-3131（病院代表） 平日：午前9時～午後5時